

# ドキュメントセンター

## 入稿データのポイント



# 【サマリー】 入稿データのポイント

## ◆入稿データ形式

推奨される入稿データ形式はAdobe PDFとなります。その理由、およびその他の受付可能なデータ形式は【受付可能データ形式】(P.2)をご参照ください。

## ◆PDFの作成設定

PDFで入稿される場合、作成するアプリケーション環境と設定により、)オンデマンド印刷に適したPDFを作成する必要があります。【PDFの作成について】(P.3をご参照ください。

## ◆ページ構成

ページ構成は、単ページ(1ページ1面、ページ順)構成を推奨します。詳細は【ページ構成】(P.4~5)をご参照ください。

## ◆印刷範囲 (フチなし印刷について)

Versant 80 Pressではフチなし印刷はできません。用紙に対する印刷領域、およびフチなし仕上がりにするデータの作成方法について、【印刷範囲】(P.6~7)をご参照ください。

## ◆ロゴマーク色の指定

ロゴマーク色は、「東北大学ロゴマーク使用マニュアル」に記載の特色(DICカラー)で指定することを推奨します。詳細は【ロゴマーク色の指定】(P.8)をご参照ください。

## 【受付可能データ形式】

原稿として受付可能なデータ形式は次の通りです。

アプリケーション		バージョン	推奨度	備考
Microsoft Office	Word	2013、および 下位バージョン	△	依頼元のプリンターとは印刷再現性が変わるため、原稿修正が必要な場合があります。
	Excel			
	Power Point			
Adobe Creative Suite	Acrobat	PDF1.7、および 下位バージョン	◎	PDF作成設定に注意・制限事項があります。
	Illustrator	Creative Suite6、 および 下位バージョン	○	下位バージョンで作成されたデータの場合、機能仕様の差から印刷再現性に差異が発生することがあります。
	InDesign			
紙原稿		-	△	データ入稿のような文字化け、イメージの相違などの心配はありませんが、光学的な画質の劣化が避けられません。 自動原稿送り装置で読み取り可能な最大用紙サイズは297x432mmとなります。

# 【PDFの作成について】

入稿データ形式としてPDFを推奨します。PDFを作成する際は、環境設定に留意してください。

## MS Officeや Adobe製品から Acrobatを使用してPDFを作成する場合

「PDF設定」、「Adobe PDF プリセット」などにより次の設定を選択してください。

- 高品質印刷
- PDF X1-a
- PDF X-4 ※PDFをダイレクト印刷する場合

その他の設定にする場合でも、必ずフォントを埋め込んでください。

## Adobe Acrobat以外のPDF作成アプリケーション

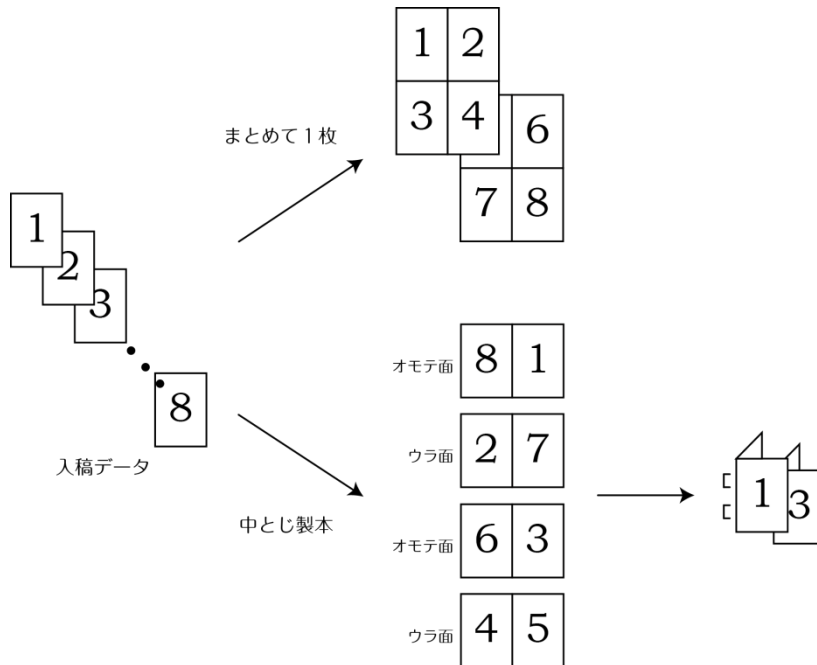
Adobe Acrobat以外のアプリケーションで作成したPDFを入稿することは推奨されませんが、やむをえず使用する場合には、必ずフォントを埋め込んでください。フォントが埋め込まれていないPDFでは、ドキュメントセンターのフォント環境と差異がある場合には、依頼元の意図通り出力されないことがあります。

## 印刷会社のワークフローRIPから書き出されたPDFについて

印刷業者が保有しているワークフローRIPなどの機器(富士フィルムXMF、大日本スクリーンEQUIOS/TrueFlowなど)から書き出されたラスターPDF/中間PDFなどは、フォントがアウトライン埋め込みになっていたり文字・線画が画像化されています。これは、そのまま印刷する分にはイメージ再現性が高いのですが編集性が損なわれており、ドキュメントセンターで修正が必要な場合に著しく手間がかかる形式です。印刷業者からPDFデータを入手する際は、IllustratorやInDesignから書き出したPDFを希望することをお申し添えください。

# 【ページ構成】

入稿データのページ構成は、基本的に単ページ(1ページ1面、ページ順)構成を推奨します。単ページ構成であれば、様々な仕上がり(製本)への対応が可能です。



## 仕上がり(製本)の種類

■ ノーマル


  
ノーマル

■ フックレット


  
中とし


  
平とし


  
カタログ印刷

■ ギャングアップ


  
まとめて1枚


  
殖版


  
カット&スタック

■ 特殊


  
W字四つ折り


  
外三つ折り


  
巻三つ折り


  
巻四つ折り


  
観音折り

## 【ページ構成】中綴じ面付けする場合の注意点

予め中綴じ用に面付けして入稿する場合、下図左のような面付け加工を推奨します。Adobe InDesignによる小冊子面付けを利用する場合、設定により最初と最後のページのサイズが、中面のページサイズと整合性が取れない(1/2にならない)データになることがあり、その場合はデータ修正が必要になります。

◎ 推奨する  
中綴じ用面付け

× Adobe InDesign による  
小冊子用面付け

16	1
----	---

2	15
---	----

14	3
----	---

4	13
---	----

12	5
----	---

6	11
---	----

10	7
----	---

8	9
---	---

1
---

2	3
---	---

4	5
---	---

6	7
---	---

8	9
---	---

10	11
----	----

12	13
----	----

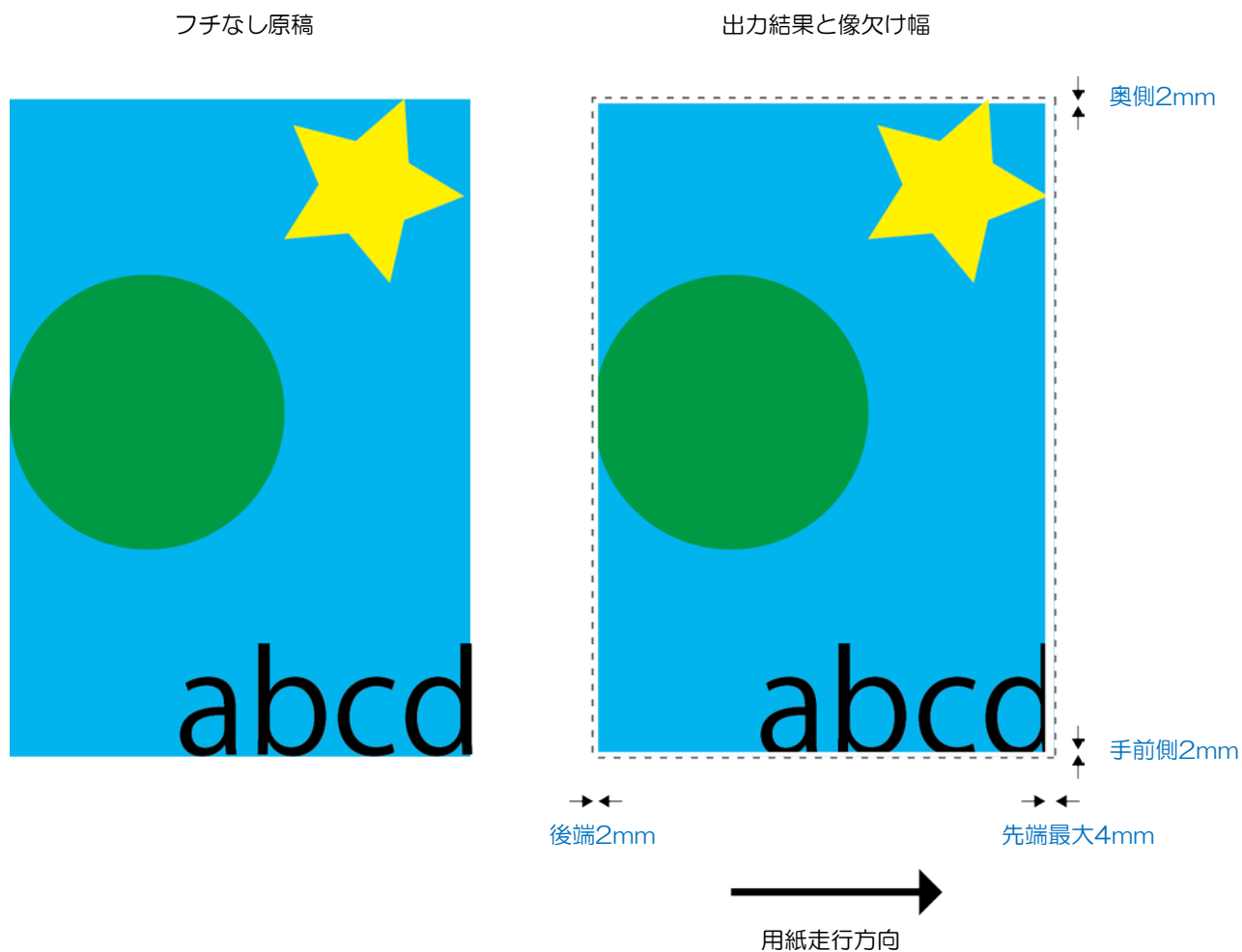
14	15
----	----

16
----

※16 ページ原稿の場合

## 【印刷範囲】 像欠け幅

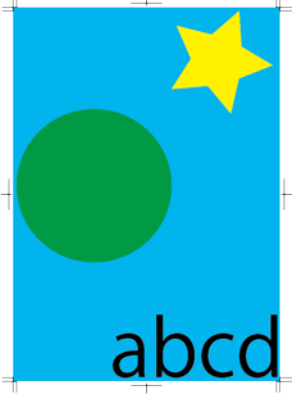
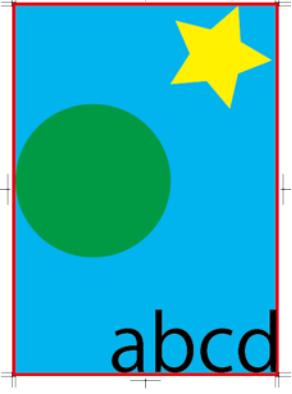
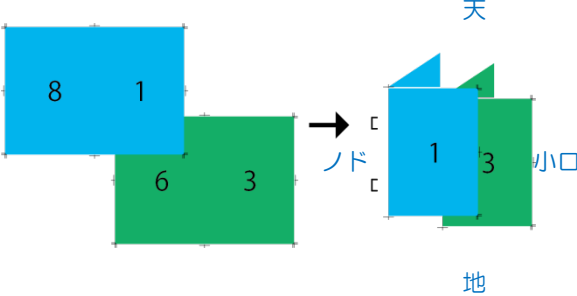
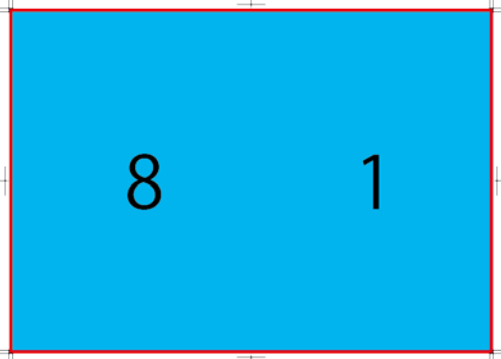
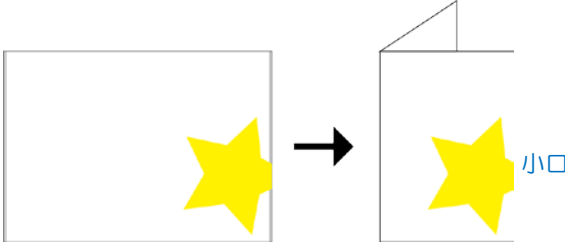
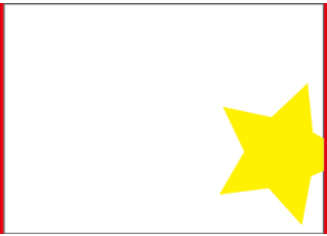
フチなし印刷はできません。下図のような余白(像欠け)が発生します。フチなし仕上げにする場合、四方/三方/小口断裁(次頁)を検討してください。



# 【印刷範囲】 四方/三方/小口断裁

フチなし仕上げにするには、仕上がりサイズより大きなページに塗り足し(裁ち落とし/ブリード)、およびトンボを付与したデザインにします。

※トンボは、Microsoft Officeでは付与できません。

断裁方法	概要	塗り足し方法
<p>四方断裁</p>	<p>各トンボの内側のラインで四方を断裁することによりフチなし仕上げになります。</p> 	<p>塗り足しは一般的に仕上がりサイズに四方3mmを加えます。(下図赤色の部分)</p>  <p>仕上がりがA4(210x297mm)の場合、216x303mmプラスチックトンボ分(Adobe製品の場合9mm×四方)のページサイズになります。</p>
<p>三方断裁</p>	<p>中綴じ製本や二つ折り後、ノド以外の三方(天・地・小口)を断裁することによりフチなし仕上げになります。</p> 	<p>四方断裁と同じ要領で、見開いたページの四方3mmを塗り足します。(下図赤色の部分)</p> 
<p>小口断裁</p>	<p>中綴じ製本や二つ折り後、小口を断裁することにより小口のみフチなし仕上げになります。</p> 	<p>見開いたページの左右のみ塗り足します。(下図赤色の部分)</p> 



## 【ロゴマーク色の指定】

- ロゴマーク色の指定は、「東北大学ロゴマーク使用マニュアル」に従い、CMYK/RGB/特色で指定してください。
- ドキュメントセンターのVersant 80 Pressは、ロゴマークで使用されている特色(DICカラー)を調整し、出力色の再現性を向上させています(\*)。Adobe製品におけるCMYKドキュメントにおいては、ロゴマークの色指定は可能な限り特色の指定をお願い致します。

(\*)別紙「Versant 80 Pressロゴマーク出力環境設定書」をご参照ください。